



第3期 医療機器開発海外展開人材育成プログラム 中間報告会

開催報告

本プログラムの中間報告会を2018年7月25日（水）に開催いたしました。
国立国際医療研究センター病院(以下、NCGM)からは院長 大西真先生、医工連携推進室長 丸岡豊先生、深谷隆史先生、国際医療協力局 土井正彦先生、船戸真史先生、第3期の受講生の方々、東京都産業労働局商工部、東京都医工連携HUB機構コーディネーターが出席しました。

報告内容

中間報告会では、受講生の方々から各講義で学んだこと、各自で調査したことを踏まえ、ミャンマーとベトナムの保健医療の実態、現地の臨床ニーズに関する仮説等を発表いただきました。

受講生は、公開されている情報と、現地を知る先生方の講義から見えてくる実態との差異を知ること、医療機器の展開の難しさを感じるとともに、NCGMの先生方との連携の意義を改めて考えるきっかけとなりました。

プログラムの後半では、NCGMの臨床現場を見学し、国内の臨床現場の実態を学びながら、ベトナム、ミャンマーとの比較につなげます。

(中間報告 目次)

- ・ 開会挨拶
- ・ 中間報告会までの取組内容

ベトナムに関する報告

ミャンマーに関する報告

質疑応答



中間報告会の様子 参加者の方々



中間報告会の様子 受講生の方々

～第3期生の最終報告会について～

第3期生の最終報告会を9月28日（金）17:00-19:30に、NCGMでおこないます。報告会では、途上国を中心とした医療の現場と現地で使われている医療機器について、受講生の皆様が講義のなかで学んだことを報告いたします。海外展開に関心のある医療機器メーカー・ディーラー、ものづくり企業の皆様の参加をお待ちしております。

詳しくはhttps://ikou-hub.tokyo/contents/kaigai_jinzai_program

または、下記お問い合わせ先までご連絡ください。